

編 集 後 記

今回の『放送大学研究年報』第10号の発行は、今年満10歳になる放送大学の成長と発展の過程で、一つの節目を刻むことになる。この節目を見て、放送大学関係者は、新しい種類の大学教育と従来の学術研究は両立し得る、ということを改めて知ることになる。放送大学は、日本のどこにいても電波を通して大学教育が受けられるようにすることと、国民の生涯教育を推進することを大きな目標にしている。この目標を達成するために、教員は放送教材の作成と放送教授法の開発に努めてきたが、同時に、大学の本来の使命である研究も行ってきた。放送大学における教育と研究は、これから二つ目の節目に向かって一層の成果と貢献が期待されている。

なぜ今頃、と叱責を受けそうだが、今号から国語学や国文学に関する論文は縦書きで掲載することにした。読者にとって読みやすくなっていれば幸いである。

平成五年三月

放送大学研究年報編集委員会

委員長 比 嘉 正 範
委 員 大久保孝治・宮澤康人・中野勝郎・黒澤一清
島内裕子・斎藤正彦・藤井洋子

放送大学研究年報 第10号 平成4年

平成5年3月26日 印刷

平成5年3月30日 発行

編集兼発行者 放 送 大 学

〒261 千葉市美浜区若葉2丁目11番地

電話 043-276-5111

印 刷 者 明石印刷株式会社

〒161 東京都新宿区下落合1-9-5
